



川崎市立川崎病院
シンボルツリー

くすの木

平成22年12月28日発行（第17号）発行責任者：田口眞一 編集：川崎病院広報委員会
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/index.html>

川崎市立川崎病院の基本理念

川崎市立川崎病院は、自治体病院として、市民に最善の医療を提供し、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献することを目指し、その目的のために職員の和とたゆまぬ研究心をもって、次のことを実践してまいります。

- 1 「病気」ではなく「病人」を診る患者さん中心の医療
- 2 地域の基幹病院として、質の高い医療を提供
- 3 健全な経営基盤の確立

【患者さんの権利】

1. 生命の尊重と、人格を尊重した医療を受けることができます。
2. 安全で安心できる良質な医療を受けることができます。
3. 患者さんご自身の病気や治療について、わかりやすく、また、十分な説明と、その情報の提供を受けることができます。
4. 希望や意見を述べていただき、診療方法については自らの意思で選択あるいは拒否することができます。
5. ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師の意見を聞くことができます。
6. 診療上の個人情報保護され、その秘密は守られます。

患者満足度調査を実施しました ご協力いただき ありがとうございます

川崎病院では、医療サービスの質の向上をめざして院内の業務改善委員会を中心に「患者満足度調査」を実施し、患者さんに調査協力をいただいています。

これは、①外来・入院患者さんの実態や当院への評価・満足度を把握する。②データを分析することにより、問題点の改善や患者満足度の向上に役立てることを目的としたものです。

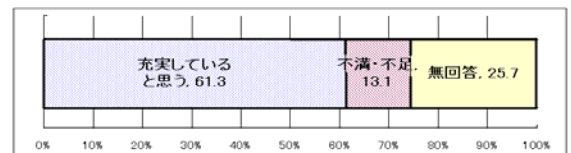
平成22年度の「患者満足度調査」は、外来が8月12日、入院が8月9日～13日の日程で、行ないました。

調査票は、外来で550部を配布し、444人の方にご回答(80.7%)いただき、入院で、380部を配布し、264人の方にご回答(69.5%)いただきました。ご協力いただいた患者さんに、紙面を借りてお礼申し上げます。

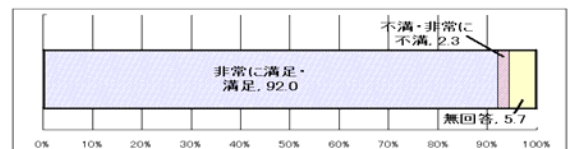
今回、調査の結果が出ましたので、一部をご報告させていただきます。

【満足度】

1. 外来 充実していると思う 61.3%
不満、あるいは不足している 13.1%
無回答 25.7%



2. 入院 非常に満足・満足 92.0%
不満・非常に不満 2.3%
無回答 5.7%



⇒4頁に、他の調査結果を記載しています。そちらもご覧ください。

平成22年度

災害時医療訓練を行ないました

病院では、院内で発生した火災などを想定して避難を行なう「防災訓練」とは別に、地域で大規模災害が起きた場合に、地域の災害医療拠点病院として患者さんの対応などを行なうための「災害時医療訓練」を実施しています。

今年度は、県内でAPECが開催される直前であり、それを踏まえた内容のものでした。

平成22年11月7日から1週間、横浜市でAPECが開催されました。

幸い、異臭騒ぎ程度で大きな事件・事故もなく、無事閉幕したのは皆さんもご存じのとおりです。

このAPEC期間中、横浜市内はもちろん、当院をはじめとする神奈川県内の災害医療拠点病院には、厚生労働省および神奈川県から、万一災害が起きた際の傷病者受け入れなどの協力要請がありました。各国の首脳・閣僚を招いて開催される、このような重要な国際会議において起こりうる災害として想定されるのは、現在世界各地に頻発する爆弾テロです。

そこで今回の災害医療訓練はテロ対策訓練として、去る10月16日土曜日午前に実施し、地元町内会の皆さんを始め、入院中や救急外来を受診した患者さんにもご理解いただき、事故や怪我もなく無事に訓練を終了することができました。

本訓練は、平日の午前中に川崎区内の某繁華街の屋外で、汚染物質を混じた爆弾テロが発生したとの想定のもと、2部構成で行われました。



【第一部】（10時～11時）

爆弾テロ発生現場活動の展示訓練

当院正面駐車場のスペースを川崎区内某繁華街の現場に見立てて、川崎市消防局（川崎消防署・臨港消防署・同特別高度救助隊）および神奈川県警察NBCテロ対応専門部隊が参加して、現場で助けを求めている30名の傷病者の救出・救助訓練を行いました。これは消防および警察のテロ対応専門部隊が合同で行った大規模なものでした。具体的には、両部隊とも防護服に身を包んだ隊員が、テロ発生時に最初に行う活動（初動活動）として現場を確認し、汚染のある危険区域とその周囲の準危険区域、汚染がない安全な消防警戒区域に区域分けを行うとともに、傷病者の重症度と汚染の有無を確認しました。ついで、汚染のある重症傷病者から優先して服を脱がせる・汚染をふき取る・水で洗い流すなど汚染を取り除く除染後に消防警戒区域に救出しました。この第一部で現場ではどのような活動を展開するのかわかることにより、その後傷病者を受け入れる病院での適切な対応のための理解を深めることができました。

なお、この訓練では30名の当院職員が模擬患者役を演じました。

【第二部】（11時15分～12時）

汚染残存傷病者の受け入れ訓練

ついで、【第一部】の事案により、当院に救急搬送された傷病者の除染・受け入れ訓練を、救命救急センター前の広場・駐車場で行いました。

これにはNBC災害・テロ対策研修を受けた当院の医療チームおよびAPEC災害医療対応として参加することが決定している、JA秋田厚生連平鹿総合病院、新潟市民病院、相澤病院、兵庫医科大学病院、横浜労災病院、山形県立中央病院、京都第一赤十字病院、大阪府済生会千里病院、大津赤十字病院の医療チームが参加しました。模擬患者は当院職員18名、内訳は重症8名、中等症8名、軽症2名で、医療チームには傷病内容は事前には知らせずに訓練を行いました。傷病者は医療チームに指示により除染され、必要に応じて救命処置を講じながら院内の救命救急センターに誘導されました。

災害時に一人でも多くの被災者を助けるためには、病院職員はもとより、患者さんや地域の住民の方々ご理解・ご協力が不可欠です。今後とも災害医療拠点病院である当院では、定期的に災害時医療訓練を行ってゆく予定です。

その際には、この“くすのき”なども通じて広報してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

（災害時医療専門部会長 鈴木貴博）

臨時職員募集 看護師・助産師

- | | |
|--------|-----------------|
| ① 職種 | 看護師・助産師(免許取得者) |
| ② 勤務時間 | 勤務時間等はご相談に応じます |
| ③ 勤務場所 | 川崎市立川崎病院 |
| ④ 休暇 | 期間・勤務時間に応じて有休あり |

お申込み・お問合せは「看護部管理室」
または「庶務課庶務係」に直接お電話ください。

☎(044)233-5521(代)

詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/c06/021.html#1>

外来治療センター

川崎病院には、患者さんが外来で抗癌剤治療に通院できるよう、「外来治療センター」を設置しています。利用者の増加に対応するため、平成22年8月には3階に移転し設備の拡充を行ないました。

「がん」は治療が難しい病気の一つですが、治療法は日々進歩しています。「抗癌剤による化学療法」は、主に点滴による抗癌剤治療です。

これは「手術」や「放射線治療」と並ぶ重要ながんの治療法ですが、この分野でも「効果がある」と認められた抗癌剤が増えてきており、当院でも「がん化学療法」を行う患者様が増加しています。

ひと昔前まで、がん化学療法は副作用が強いため、入院しなければできない治療でした。

しかし最近では副作用に対する予防や治療のための薬の開発も進んできており、外来でも治療ができるケースが増えてきました。

また、仕事を休みたくない、日常生活を続けたい、などの理由で、できるならば入院をしないで治療を受けたいと希望する患者様の声も聞こえてきました。

そのような情勢に応えるため、当院の「外来治療センター」は、患者様が良い環境のなかで、安全に外来でのがん化学療法を受けられる場として設置されました。

従来は2階の循環器外来の並びにありましたが、治療患者様が次第に増加してきたため、待ち時間が長くなる

など対応が難しくなってきました。そこで外来治療に関する施設の整備を目的に、平成22年8月に3階リハビリテーションセンターの並びに場所を移転しました。

今回の移転により、治療ベッド数を増床したため、より多くの患者様に対応ができるようになりました。

看護スタッフの配置も変更し、患者様が安心して治療を受けられる環境が作れるよう努めています。

また、抗癌剤の調剤室を外来治療センターのすぐ隣に設置し、薬剤師が常駐するようにしました。

これにより薬剤の調整などがスムーズに行われるようになっており、より円滑な治療の施行に結びつくと考えています。

外来治療センターでは、患者様がよりよい治療を受けられるように、医師、看護師、薬剤師、検査室などのスタッフが協力する体制を作っております。不明な点、不安な点やお気づきの点などがありましたらスタッフにお声をかけてください。

(外科 澤藤 誠)

平成23年
1月1日

分娩料が変更になります

～料金とお支払いについて～

【平成23年1月1日分娩から】

当院では、市内の他医療機関や近隣公立病院と比較して、安価な分娩料金であったことと、市内で分娩可能な医療機関が減少しているため、より多くの市民の方が分娩できるよう、分娩料の改定と、市外居住者の加算制度を設け、平成23年1月1日から、次の分娩料に改定いたします。このため、住所地の証明をお願いする場合もあるので、ご協力をお願いいたします。

安心して出産のできる環境づくりに努めるためのものですので、よろしく御理解ください。

【出産(分娩)費用について】

分娩費用のお支払いには、「出産育児一時金の直接支払制度」を、ぜひご利用ください。

この制度は、加入されている保険者(健保や国保等)から、出産後に産婦さんに給付されていた出産育児一時金を、病院が直接保険者に請求することで、出産時の産婦さんの支払いの負担が軽減される制度です。

この制度を利用するためには、出産前に「病院が妊婦さんにかわって保険者に費用を請求する」旨の同意を、妊婦さん(被保険者)と病院が、書面で交わす必要があります。

しかし、出産時の入院費用を保険者が直接病院へ支払うため、産婦さんが出産し、退院時に病院がご本人に請求する金額が大きく減少します。そのため、産婦さんが病院への支払に用意される現金額が少なくてすみます。

このような制度を、ぜひご利用ください。

分べん時の住所	川崎市内の方	川崎市外の方
診療日の時間内	120,000円	156,000円
診療日の時間外(深夜除く)	144,000円	187,200円
土曜日(休日・深夜除く)		
診療日・土曜日の深夜	168,000円	218,400円
日曜日・休日・年末年始		



感染予防のためには「咳エチケット」と、よく言われますね。
でも、効果的な感染予防の方法には、ちょっとした注意事項があることをご存知ですか？
今回は、院内感染対策室からの季節のワンポイントです。ぜひ役立ててください。

【咳エチケット】

マスクをせずに咳やくしゃみをする、ウイルスが1mから2m飛び散ります。そこで必要なことが「咳エチケット」です。

1. 咳をしている人はマスクをつけましょう。

咳やくしゃみが出る時も、マスクをはずさないようにしましょう。

2. くしゃみや咳の際はティッシュで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。

(1) 咳やくしゃみが出る時・出そうになった時は、まず、ティッシュで口と鼻をおおいます。

(2) 使用したティッシュは、必ずゴミ箱に捨てます。

4. 痰や鼻水などに触れたときは手を洗いましょう。



【正しいマスクのつけ方】

1. マスクには、上下と裏表があります。正しい向きで装着しましょう。

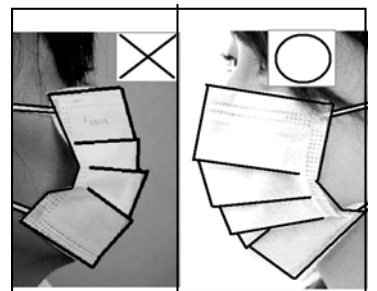
表裏を間違えて装着すると、フィルターの補集効率が低下します。また、プリーツが上向きでは、凹に埃や花粉・ウイルスが溜まります。マスクの裏表は、ゴムの取り付け面ではわかりません。

(1) ノーズフィット(鼻のワイヤ)が外側から目立つ方が表です。

(2) ノーズフィットを上にして、外側のプリーツが下向きになるよう装着します。

2. マスクは、鼻・口元を確実に覆うように、着用しましょう。

マスクを装着したら、マスクのダーツを伸ばして、鼻から顎までを覆います。



患者満足度調査結果

【外来調査】

1. 来院のきっかけ

「受診したい科があるため」が35.4%と最も比率が高くなっている。

次いで「自宅・勤務先が近い」32.4%、「他の医療機関の紹介」23.6%となっている。その他では、「救急で運ばれた」などがあつた。

2. 不満があつたところ

「診療科について」が23件と最も多くなっている。次いで「検査科について」12件、「受付について」11件、「会計について」11件と続く。

3. 医療サービス

「充実していると思う」が61.3%、「不満、あるいは不足している」13.1%となっている。

4. 医療サービスで充実・改善すべき点

46件の記入があつた。「待ち時間について」が16件と最も多くなっている。次いで「診察・説明について」9件、「病院の設備について」4件、「受付について」3件、「システムについて」3件と続く。

【入院調査】

1. 入院のきっかけ

「他の医療機関の紹介」が37.5%と最も比率が高くなっている。次いで「自宅・勤務先が近い」22.3%、「救急搬送」10.6%となっている。その他「通院中」、「インターネットのホームページ」などがあつた。

2. 入院した病室の環境

「良好」は、『①病室のベッド、トイレ、テレビ等の環境』で51.5%と最も比率が高くなっている。次いで、『③病棟内の消灯や空調』45.8%、『⑤面談室』35.6%と続く。

反対に「不良」は、『⑦面会時間』や『③病棟内の消灯や空調』、『②食事の内容や時間』でやや比率が高くなっている。

3. 市立川崎病院に望むこと

「待ち時間の短縮」が、48.5%と最も比率が高くなっている。次いで「がん治療の充実」19.7%、「検査・治療機器の充実」16.3%と続く。その他では、「障がい者が利用しやすく」、「予約して待つので改善してほしい」などがあつた。

これらの皆様方の貴重なご意見を参考に、具体的な改善策を実施することで、さらなる医療サービスの向上に努めてまいります。